

国立病院機構南岡山医療センターにおいて
2013年7月1日～2014年12月31日、
2023年4月1日～2024年9月30日の間に
当院神経筋疾患病棟に入院中に死亡された患者さん

—「神経筋疾患慢性期病棟における夜間休日の死亡確認—「働き方改革」から見る—」
へのご協力をお願い—

研究機関名 国立病院機構 南岡山医療センター

研究機関長 井上美智子

研究責任者 国立病院機構 南岡山医療センター 脳神経内科 麓直浩

1. 研究の目的

「働き方改革」が医師を含めた医療従事者の間でも叫ばれるようになっていきます。医師数減少に伴う負担軽減の必要性、残業時間減少の要請といった理由から当院でも働き方改革が必要となっています。以前は担当する患者さんが死亡された際には夜間休日でも主治医が死亡確認していましたが、現在では勤務時間以外では原則として当直医が死亡確認するように変化しています。そこで10年前と現在で勤務時間外の死亡確認を誰が行っているかを検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

この研究では2013年7月1日～2014年12月31日、2023年4月1日～2024年9月30日の間に、南岡山医療センター神経筋疾患病棟において入院中に死亡された患者さんを対象としています。

2) 研究期間

研究機関の長許可後～2027年3月31日

3) 研究方法

2013年7月1日～2014年12月31日、2023年4月1日～2024年9月30日の間に当院神経筋疾患病棟において入院中に死亡された患者さんの診療録を用いて後方視的に検討します。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから主治医、死亡時の担当医師を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し使用します。

5) 外部への試料・情報の提供

この研究に使用する情報は、南岡山医療センターにて解析を行います。

6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、南岡山医療センター医局内で

保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

ご家族のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、患者さんの試料・情報が研究に使用されることについて、問い合わせ等がございましたら下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者様に不利益が生じることはありません。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

＜問い合わせ・連絡先＞

国立病院機構南岡山医療センター

担当者:管理課 西谷将巳

電話:086-482-1121 (平日:8時45分～17時15分)

ファックス:086-483-3883